

CASBEE-建築(新築)2016年版
 福知山市富住宅つづしが丘団地ほか建築事業に伴う建設工事 1期

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

スコアシート		竣工段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q1 室内環境							0.40			3.2
1 音環境						-	0.15	2.7	1.00	2.7
1.1 室内騒音レベル						-	-	3.0	0.50	
1.2 遮音						-	-	2.4	0.50	
1 開口部遮音性能						-	-	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	2.0	0.20	
1.3 吸音						-	-	-	-	
2 温熱環境						-	0.35	5.0	1.00	5.0
2.1 室温制御						-	-	5.0	1.00	
1 室温				日本住宅性能表示基準5-1における等級4を超える水準		-	-	-	-	
2 外皮性能						-	-	5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性						-	-	-	-	
2.2 湿度制御						-	-	-	-	
2.3 空調方式						-	-	-	-	
3 光・視環境						-	0.25	2.9	1.00	2.9
3.1 昼光利用						-	-	1.9	0.50	
1 昼光率						-	-	2.0	0.50	
2 方位別開口						-	-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備						-	-	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						-	-	4.0	0.50	
1 昼光制御				カーテンと庇を組み合わせてグレアを制御		-	-	4.0	1.00	
3.3 照度						-	-	-	-	
3.4 照明制御						-	-	-	-	
4 空気質環境						-	0.25	3.7	1.00	3.7
4.1 発生源対策						-	-	4.0	0.63	
1 化学汚染物質				ほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用している		-	-	4.0	1.00	
4.2 換気						-	-	3.3	0.38	
1 換気量						-	-	3.0	0.33	
2 自然換気性能				居室面積の1/8以上の開閉可能な窓を確保		-	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						-	-	3.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御						-	-	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	2.6
1 機能性						2.4	0.40	2.0	1.00	2.0
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	2.0	0.60	
1 広さ・収納性						-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応						-	-	2.0	1.00	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観						-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画						1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理						3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.3	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				日本住宅性能表示基準,3.劣化の軽減に関する事において等級3		5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				主要な上位3種類の2種以上にBを使用し、Eは不使用		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.2	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	3.0	0.50	
1 階高のゆとり		-	-	-	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		-	-	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		-	-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.2	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性		-	3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		構造材を傷めることなく修繕、更新できる	4.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		-	3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		-	3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		-	3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		-	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出		-	2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		建物の色彩等のまちなみへの調和、植栽による良好な景観を形成	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		-	3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		-	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境性能評価							3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱により外皮熱負荷を抑制	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		-	3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI=0.72	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング		-	3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		-	3.0	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		-	3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		-	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水		-	3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		-	3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		-	3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.9	0.60	-	-	3.9
2.1 材料使用量の削減		高強度せん断補強筋等を採用	4.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		共用廊下:ビニル床シート、ベンチ、樹名板ム	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		「躯体+木下地・LGS下地+仕上材」により分別が容易としている	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		-	3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		-	3.0	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		-	3.0	1.00	-	-	
3 冷媒		-	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率を抑制している	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止		-	3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		流体数値シミュレーションを行って影響を予測	4.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		-	3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		-	3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		-	3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		-	3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音		-	3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			2.3	0.40	-	-	
1 風害の抑制		-	2.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		-	1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制		-	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策ガイドラインの過半を満たし、広告物照明は不採用	4.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

福知山市営住宅つつじが丘団地ほか建替事業に伴う建設工事 1期

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0		○	○	○	-	-	○	-	○	-				
1.3.2 維持管理用機能の確保	6.0		-	○	-	-	○	-	○	○		○	-	○	
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-	-					
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	-	○	-	-	-	-	○						
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-						
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-						
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	6.0		-	-	2.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	1.0	-		
2 まちなみ・景観への配慮	4.0		2.0	1.0	-	-	1.0	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.0		-	-	1.0	-	1.0	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	9.0		-	3.0	-	2.0	-	-	-	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無				-											
2.1 材料使用量の削減	3.0		-	-	3.0										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-									
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	○	-	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	14.0		1.0	-	-	3.0	3.0	-	-	2.0	3.0	2.0			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		-	-	1.0	-	1.0	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	1.0	-	1.0	-	-							
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0											
主な指標															
Q1 室内環境															
2.1.3 外皮性能															
窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) -															
U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 -															
住戸部分 窓システムU値 3.0 外皮UA値 0.6 η AC 1.7 η AH 0.8															
3.1.1 昼光率															
昼光率 0.0%															
4.2.2 自然換気性能															
自然換気有効開口面積率 0.0%															
Q2 サービス性能															
1.1.1 広さ・収納性															
執務スペース .0㎡/人 病床 .0㎡/床 シングル .0㎡ ツイン .0㎡															
1.1.2 高度情報通信設備対応															
コンセント容量 0.0 VA/㎡															
1.2.1 広さ感・景観															
天井高 0 m															
1.2.2 リフレッシュスペース															
リフレッシュスペース 0.5% レストスペース 2.0%															
2.2.1 躯体材料の耐用年数															
想定耐用年数 0 年															
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔															
想定必要間隔 0 年															
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔															
想定必要間隔 0 年															
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔															
想定必要間隔 0 年															
3.1.1 階高のゆとり															
階高 3.5 m															
3.1.2 空間の形状・自由さ															
壁長さ比率 0.0%															
3.2 荷重のゆとり															
床荷重 2900 N/m2															
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出															
外構緑化指数 22% 建物緑化指数 0%															
3.2 敷地内温熱環境の向上															
空地率 85% 水平投影面積率 7% 地表面対策面積率 22% 舗装面積率 57%															
LR1 エネルギー															
1 建物外皮の熱負荷抑制															
BPI/BPI _m - 断熱等性能等級 等級4を超える 相当															
2 自然エネルギー利用															
自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0%															
通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%															
3 設備システムの高効率化															
BPI/BPI _m 非住宅 - 住宅 - 太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW															
LR2 資源・マテリアル															
1.2.1 雨水利用システム導入の有無															
雨水利用率 0.0%															
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用															
特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -															
2.5 持続可能な森林から産出された木材															
使用比率 0.0%															
3.2.1 消火剤															
オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)															
3.2.2 発泡剤(断熱材等)															
オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)															
3.2.3 冷媒															
オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)															
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善															
見付面積比 126% 隣棟間隔指標R _w 1.91															
地表面対策面積率 48.0% 屋根面対策面積率 #DIV/0! 外壁面対策面積率 #DIV/0!															
見付面積S _b 30㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅W _s 30 m 基準高さH _b 30 m															
緑地 673㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 855㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡															